

日医発第 1015 号 (地 I 288)

平成 30 年 2 月 1 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

横 倉 義 武

NBCR対策推進機構 第3回「CBRNE災害と現場の対応」担当者養成講習会の
開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、NBCR対策推進機構による第3回「CBRNE災害と現場の対応」担当者養成講習会が開催されることとなりました。

本講習会には、本会より石川広己常任理事が講師として参画する予定となっております。

講習会の開催日および締切日は、下記のとおりです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

第3回「CBRNE災害と現場の対応担当者養成講習会

開催日：平成30年3月4日（日） 9：00～17：00

締切日：平成30年2月23日（金） 定員：100名 費用：3万円

場 所：主婦会館プラザエフ8F「スイセン」

〒108-0085 東京都千代田区六番町15

第3回「CBRNE災害と現場の対応」担当者養成講習会

(救命・救急医、産業医及びCBRNE災害対策担当者等が知っておくべきこと)

(1級認定・日医生涯教育制度5単位認定) (申請中)

主催 NPO法人 NBCR対策推進機構
後援 公益社団法人 日本医師会(申請中)

開講のご案内

2020年(平成32年)の東京オリンピックに備え、また最近の国内外のテロ対策の動向からも、CBRNE災害における現場の対応の重要性が改めて認識されており、昨年度に引き続き、第3回「CBRNE災害と現場の対応」(救命・救急医、産業医及びCBRNE災害対策担当者等が知っておくべきこと)を開講することと致しました。

今回の講習会も、新しい視点から現在日本の第一人者として活躍中の新進の講師を迎え、現場におけるCBRNE災害対処に真に役立つ第1級の危機管理コース(CBRNE災害現場対策危機管理者1級認定)と致しました。

ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

平成30年1月吉日

NPO法人NBCR対策推進機構

会長 片山 虎之助

理事長 井上 忠雄

別紙

NPO法人 NBCR対策推進機構

第3回「CBRNE災害と現場の対応」担当者養成講習会について

—主として救急・救命医・産業医及びCBRNE災害対策担当者等が知っておくべきこと—

主催 NPO法人 NBCR対策推進機構

後援 公益社団法人 日本医師会

■趣旨

2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。ボストンマラソン爆破事件や過去のオリンピック時に生じたテロ事件或いは世界各地で頻発するテロ事件では殆どが高性能爆薬を使用した爆弾テロや化学物質等を混入した高性能爆薬が使用され、世界のテロ事件等を考えると安全・安心を確保して東京オリンピックを成功させるためには官民挙げて爆発物によるテロ対策等の予防に万全を期さねばなりません。日本では、三菱重工爆破事件等で経験したように、爆発物によるテロ等に特に注意が必要です。これらの対策では、特に、現場における実働機関の対応の仕方や各実働機関の連携が取分け重要です。指揮の統一や情報の一元化、或いは責任と権限の明確化が重視されます。また、裂傷を始めとする多くの被害者は現場での救急措置は勿論のこと、中でも特に医学的対応が重視されます。病院等でのCBRNE災害について処置すべきこと等現場責任者の知っておくべきことが重要です。平素から爆発物テロやCBRNテロ等の関連情報を収集・評価し、物的・人的措置を講じ、教育・訓練を行い、標的化を防止して適切な対応力を養成しておくことが重要です。最新の世界の情報・経験を踏まえて爆発物テロやCBRNテロを含む爆発物災害対策等を見直し各種の厳しい現実を想定した訓練・講習を実施する必要があります。

今回、新しい視点からの現在日本の第1人者としてご活躍中の新進の講師を迎え「CBRNE災害と現場の対応担当者養成講習会」を下記の通り開催いたします。今回の講習会はCBRNE災害と現場の対応に特化した第1級の危機管理コースです。

■講習対象者

救命・救命医師、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、消防関係職員、企業危機管理担当者、自治体危機管理関係者、その他講習研修を更新の希望者

■認定カード発行

講習修了時認定試験を行い「CBRNE 災害現場危機管理者認定カード(1級)」を発行し当機構での認証を行います。

■講習期間

	日 時	受付締切	定員
期 間	平成30年3月4日(日曜) 09:00~17:00	2月23日(金)	100名

■細部

※CBRNE災害と現場の対応担当者養成講習会カリキュラム

付紙1

※ 申込: 「申込書」により FAX でお申込み下さい。

申込書: 付紙2

※ 場所: 主婦会館プラザエフ8F「スイセン」(JR 四ッ谷駅徒歩1分)

〒102-008 東京都千代田区六番町 15 (Tel:03-3265-8111)

講習会場案内図: 付紙2

※ 締切り: 先着定員になり次第申込を締め切ります。

※ 順延: 最小催し人員数15名以下の場合には延期し順延の通知を致します。

※ 費用: 3万円 (弊機構個人正会員: 2万円、 弊機構団体会員: 1, 5万円)

※ 連絡先: NBCR 対策推進機構

■カリキュラム
付紙1

日	時 間	科 目	講 師
平成30年4月3日(日)	09:00～09:10	※オリエンテーション	弊機構理事長 工学博士 井上 忠雄
	09:10～10:00	1. CBRNE災害と現場の対応 (cc1、医師のプロフェッショナルリズム)0.5単位	環境省大臣官房環境保健部 環境リスク評価室 (元陸自研究本部特殊武器研究室長) 中村 勝美 先生
	10:00～10:50	2、医療と消防の連携 (cc6、医療制度と法律) 0.5 単位	消防庁 救急企画室 救急専門官 森川 博司 先生
	10:50～10:55	休 憩	
	10:55～11:50	3、自治体と実働機関の連携の在り方 (cc7、医療の質と安全) 0.5単位	神奈川県安全防災局 参事監(危機管理担当) 岡崎 勝司 先生
	11:50～12:40	休 憩(昼 食)	
	12:40～13:40	4、災害と医療 (cc9、医療情報、cc12、地域医療) 1単位	日本医師会常任理事 石川 広己 先生
	13:40～14:40	5、米国のインシデント・コマンド・システムと 現場の対応 (cc14災害医療、cc15臨床問題解決のプロセス) 1単位	防衛医科大学校救急部救命救急センター ・防衛医学研究センター准教授 秋富 慎司 先生
	14:40～15:40	6、民間病院におけるNBCR対策訓練 —主として医療の立場から— (cc17急性中毒、cc19身体機能の低下) 1単位	東京曳舟病院名誉院長 日本大学客員教授 石原 哲 先生
	15:40～15:45	休 憩	
	15:45～16:30	7、現場における医療対応 (cc44心肺停止) 0.5単位	杏林大学教授 高度救命・救急センター長 山口 芳裕 先生
	16:30～16:35	休 憩	
	16:30～16:55	8、 ※試 験	
16:55～17:00	※ 受講者修了書授与(「CBRNE災害と現場の対応」担当者養成講習会)		

※ 1、cc とあるのは、カリキュラムコードを示す。

※ 2、カリキュラムの項目について科目の中で言及する。

※ 3、日医生涯教育制度による講習会の東京都医師会認定基準を示すもの

第3回CBRNE災害と現場の対応担当者養成講習会申込書 付紙2

申込み締切り	平成30年2月23日(金) 先着順 100名		
申込先 FAX	03-5829-6197		
申込者(団体等)名			
参加者氏名 (ふりがな) ご記入は、楷書にて わかりやすくご記入 下さい	氏名	所属	職名
所在地	〒		
連絡先	電話番号:	FAX 番号:	
組織区分 ○で囲みください	NBCR 対策推進機構 : 個人正会員 ・ 団体会員		
	日本医師会 : 所属地区名()		
	官公所属 : 自治体 ・ 警察 ・ 消防 ・ その他		
要望事項			

○講習会場案内図：主婦会館プラザエフ 8F「スイセン」(JR四ツ谷駅 徒歩 1分)

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 (TEL.03-3265-8111(代))



●連絡先: NBCR 対策推進機構 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-7-9 大森ビル 2 階
 電話:03-5829-6187 FAX:03-5829-6197 e-mail: nbc-r-npo@tea.ocn.ne.jp
 担当:副理事長 安達佳男 事務局:執行役員:平川寿夫 ・ 執行役員:弘松 義生

機構使用欄 HP	
-------------	--